

ジブリパーク応援 「となりのセトシ」

令和4年11月1日、愛・地球博記念公園内にジブリパークが開園しました。瀬戸市は、愛知万博の理念を次世代へ継承するジブリパークを応援するとともに、瀬戸市の自然やレトロな魅力を「となりのセトシ」として市内外に広く発信するなど、市民の誇りと愛着の醸成や地域の活性化に向けた取り組みを進めています。



ロゴマークを活用した プロモーション展開

「ジブリパークのある愛知」のロゴマークを活用したプロモーショングッズ等を作成しました。

デザインマンホールの作成

ロゴマークの入ったデザインマンホールを市内4か所に設置しました。

となりのセトシバナーの作成

ジブリパークと「となりのセトシ」をPRするバナーを名鉄瀬戸線と尾張瀬戸駅周辺に設置しました。



広告塔の作成

ロゴマークが入った広告塔をせとまちツクリテセンター横に設置しました。

瀬戸市議会

SETO CITY COUNCIL

瀬戸市議会は市民の代表として、選挙によって選ばれた26名の議員で構成しています。公正性と透明性が確保された議会運営に努め、自らの果たすべき役割と責任を認識しつつ、市民の多様な意見・意思を反映できる合議機関として市民の負託に全力で応えていきます。

26 people are elected to serve as representatives on Seto City Council. The council gives their best to ensure fair and transparent management and to reflect diverse views of the citizens.



将棋文化振興

地元棋士の活躍を受け、瀬戸市では平成30年に「瀬戸将棋文化振興協会」が立ち上がるなど、まち全体で将棋文化の普及や地元棋士の応援に取り組んでいます。

将棋文化の普及

こども将棋大会や棋士の公開対局などを行う「将棋まつり」、小中学校と連携した特別教室などが開催され、幅広い年齢層の方々に将棋に親しんでもらえる機会を創出するとともに、伝統文化の継承と知識の普及向上を図っています。



将棋文化振興自治体 全国将棋サミット

将棋文化の継承と普及に関する事業を通じて地域の発展を目指す自治体が一堂に会する「全国将棋サミット」に参加し、各地での取り組みについて意見交換を行い、交流と連携を促進しています。



瀬戸

戸市議会では、さらに開かれた議会を実現するため、瀬戸市議会基本条例を制定し、議会や議員がいかに活動するかを定めており、議会機能の強化や、市民福祉の増進を目指しています。

この議会基本条例に基づき、議員の資質向上のための議員研修会を毎年開催しています。他にも、市民と議会の意見交換会「せとまちトーク」を実施し、市民の皆さんの意見をいただき、政策資源とするための方策を進めています。

また、議会宛に提出された市民からの提案（請願）、市民からの意見（陳情）は、要件を満たすものについては審査を行う常任委員会において市民から直接議員に説明することができ

ます。本会議、各常任委員会などの模様は傍聴していただくほか、インターネットでも視聴ができます。瀬戸市長から提出された議案を審議する過程や一般質問における議会と市とのやりとりなどぜひご覧ください。

また、議会活動をSNS（フェイスブック・インスタグラム）等でも情報発信してまいりますので、そちらもご覧ください。



市民と議会の意見交換会「せとまちトーク」



議員研修会